

習志野市教育委員会会議録
(令和5年第1回臨時会)

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 期 日 | 令和5年8月2日(水)
市庁舎3階大会議室
開会時刻 午後1時30分
閉会時刻 午後2時30分 |
| 2 | 出席委員 | 教 育 長 小 熊 隆
委 員 赤 澤 智津子
委 員 馬 場 祐 美 |
| 3 | 出席職員 | 学校教育部長 島 本 博 幸
学校教育部次長 杉 山 健 一
教育総務課長 中 野 充
指導課長 近 藤 篤 史
指導課主任指導主事 伊 坂 尚 子 |

4 議題

第1 議決事項

議案第21号 令和6年度使用教科用図書の採択について
(小学校の教科用図書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書)

第2 その他

5 会議内容

小熊教育長

令和5年習志野市教育委員会第1回臨時会の開会を宣言

小熊教育長

本会議の審議を傍聴したい旨の申し出が17名からあり、希望者について受け入れること、また、今後の傍聴の申し出について、受け入れが可能な範囲で受け入れることについて諮り、全員異議なく提案どおり決定された。

議案第21号 令和6年度使用教科用図書の採択について(小学校の教科用図書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書) (指導課)

近藤指導課長

議案第21号「令和6年度使用教科用図書の採択について(小学校の教科用図書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書)」について、説明する。

本議案は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第5項の規定に基づき、学校教育法第34条第1項、第49条及び附則第9条第1項に規定され、さらに、習志野市教育委員会行政組織規則第3条第16号に規定する、令和6年度使用小学校教科用図書及び特別支援学級使用の一般図書の採択について、御審議をお願いするものである。

なお、事前に教育委員の皆様には、閲覧していただいているが、今一度、御覧いただく時間を設けたいと思う、と説明

小熊教育長

小学校の教科用図書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書について、閲覧の時間を設けることとする、と発言

各委員が、各教科書を閲覧

近藤指導課長

スライド資料2ページ目上段を御覧いただきたい。小学校用教科用図書について説明する。小学校用教科用図書の採択については、学校教育法附則第9条第1項の規定により教科書以外の教科用図書を使用する場合を除き、令和6年度使用小学校用教科書目録に記載されている教科書のうちから採択しなければならないとされている。さらに、教育委員会第5回定例会議案第17号で御承認いただいた「令和5年度教科用図書葛南東部採択地区協議会規約」第10条第4項に

に基づき、表記載の見本本の送付があった発行者の全ての教科用図書について、調査研究を行った。

スライド資料2ページ目下段を御覧いただきたい。調査研究にあたっては、令和5年6月1日付け教学指第438号による、千葉県教育委員会による「令和6年度使用教科用図書選定資料」に基づき「学習指導要領への対応」、「内容」、「造本」の3つの視点で行った。令和5年7月24日に開催した令和5年度第2回教科用図書葛南東部採択地区協議会において、小学校13種目それぞれの特徴等、公正公平かつ細部に至るまで丁寧に調査した結果を研究調査委員長から報告を受け、選定を行った。なお、文部科学省からの通知により、教科書採択に係る調査・研究の対象は紙の教科書が基本であること、一方で小学校英語については、デジタル教科書を調査し、考慮の一事項とすることができるとあった。これを受け、千葉県教科用図書選定審議会では、令和6年度使用教科用図書選定資料の作成に向け、英語のデジタル教科書の調査研究を行っていることから、本市でも英語のデジタル教科書について調査研究を行った。

スライド資料3ページ目上段を御覧いただきたい。種目ごとの調査研究報告の概要と選定結果について、報告させていただく。国語は、教育出版「ひろがる言葉 小学国語」を選定した。見本本の送付があった東京書籍「新編 新しい国語」は、単元のはじめに「身に付ける資質・能力」や「学習の流れ」が示され、学習の流れに沿って具体的な言語活動例や対話の例が掲載されていたり、学びの振り返りで身に付けた「言葉の力」を確認できたりする流れになっている。また、名作から現代的作品まで、バランスよく取り上げられているという特徴がある。光村図書「国語」は、単元の扉で「学習のめあて」、「これまでの学習との関連」という、学びを始めるための問いを示し、次のページから本文が始まるという特徴がある。また、振り返りでは、評価の観点に対応した「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」が示されている。掲載されている文章の文種も多様で、記述の分量も適当であった。

スライド資料3ページ目下段を御覧いただきたい。選定した教育出版「ひろがる言葉 小学国語」は、全学年、同時期に同じ領域の単元を置き、系統的、発展的に配列している。また、実用的な文章から自己を表現する文章まで、多様な文種が取り上げられている点、文章の量や挿絵との関係において、児童が想像をより膨らませることができるように作られているという特徴があげられる。また、学び合いの場、伝え合う力を培う言語活動や題材、読書につなげる読書紹介等が配列され、本県の教育施策の実現に資する内容になっていること、教材文に関連する図書が6年間で約540冊紹介されていることなどから、適切であると判断した。協議会では、教育出版社は5年生・6年生も上下2巻となっており、タブレットの持ち帰り、他の持ち帰り教科書等の軽量化を図っている習志野市には適しているとの意見もあがった。

スライド資料4ページ目上段を御覧いただきたい。書写は、教育出版「小学 書写」を選定した。見本本の送付があった東京書籍「新編 新しい 書写」は、巻頭で学びのねらいと学習する文字に関する知識・技能が全学年系統的に示され、児童が自ら「主体的・対話的で深い学び」を展開しやすいように配慮されているという特徴がある。また、伝統文化や学校行事、日常生活に関わる教材を補足的・発展的に取り入れることで、家庭や地域社会と連携を図りながら学習を展開できるように配慮されている。光村図書「書写」は、児童が見通しをもち、主体的に学習ができるように学習の進め方を示し、課題に対して自己評価欄を設けるなどの工夫が見られる。また、第1学年で書写スタートブック、第3学年で毛筆スタートブックという硬筆・毛筆学習入門期における基礎基本を巻頭に設け、児童が着実に学習をスタートできるように配慮されているという特徴がある。

スライド資料4ページ目下段を御覧いただきたい。選定した教育出版「小学 書写」は、児童が問題解決に向けて考えたり、話し合ったりする対話的な学習を通して、深い学びへつながる工夫がされているという点を評価した。また、学習過程が明確で、且つ児童の発達段階や言語活動に考慮して平易に簡潔に表現されていたり、図や写真が適切に示されて理解を促したりしている点、また、書写の学習用語が適切に示され、学習内容の理解を促している点などから、適切であると

判断した。

スライド資料5ページ目上段を御覧いただきたい。社会は、東京書籍「新編 新しい社会」を選定した。見本本の送付があった教育出版「小学社会」は、巻頭に他教科との関わりを例示し、他教科の内容を意識した教科等横断的な広がりや、カリキュラム・マネジメントにも配慮している。また、一貫性のある追究によって学習課題を解決できるよう内容を適切に取り上げているという特徴がある。日本文教出版「小学社会」は、社会科の目標に則して、社会科的な見方・考え方を単元の要所に示し、「考えよう！SDGsコーナー」で主体的に課題を追究しながら多角的に考えることができるようにしているという特徴がある。

スライド資料5ページ目下段を御覧いただきたい。選定した東京書籍「新編 新しい社会」は、「つかむ、調べる、まとめる、いかす」に加え「ひろげる」の学習過程を通して、問題解決の方法を選択、判断できるようにしている点、また、前学年及び当該学年の学習内容の掲載や問題解決的な学習の進め方の例示など、児童が見通しをもって学習に取り組めるよう内容を適切に取り上げていたり、児童が社会認識を育むよう、内容を系統的に配列し、発達段階に応じた文章表現になっていたりする点を評価し、適切であると判断した。協議会では、5年生・6年生が内容に応じて分冊となっており、児童の持ち帰りの重さ軽減や、内容ごとの学びやすさに配慮されている点も評価できるとの意見があがった。

スライド資料6ページ目上段を御覧いただきたい。地図は、帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳3・4・5・6年」を選定した。見本本の送付があった東京書籍「新編 新しい地図帳」は、地図活用力を向上させるためのクイズを随所に設け、主体的な学びを喚起する工夫がされている。また、土地の示し方として、高さは陰影をなくし、明るい色合いで表現している点が特徴である。

スライド資料6ページ目下段を御覧いただきたい。選定した帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳3・4・5・6年」は、クイズ形式のコーナーを設け、主体的な学習を誘発する工夫がある点、また、持続可能な社会の実現に向けた課題や取組に配慮するとともに、他教科でも活用できる教科等横断的な視点で長期間に渡って使用する工夫がされている点から、適切であると判断した。協議会では、土地の高さで陰影をつけ、立体感のある地図表現がされており、地形の様子を視覚的にも捉えやすく、評価できるとの意見があがった。

スライド資料7ページ目上段を御覧いただきたい。算数は、啓林館「わくわく 算数」を選定した。見本本の送付があった東京書籍「新編 新しい算数」は、単元前半で資質・能力を育み、後半では身に付けた自らの資質・能力を発揮して問題に取り組む構成になっているという特徴がある。また、多様な職業の方が算数との関わりを語った文章を載せるなど、キャリア教育との関連が図られているという特徴もある。大日本図書「新版 たのしい算数」は、児童に意識させたい数学的な見方・考え方をひらめきアイテムとしてまとめ、活用しやすいように工夫されている。また、算数と関わりをもつ職種の人へのインタビューや、外国にルーツを持つキャラクターの登用など、キャリア教育の視点や人権、国際理解としての多様性が配慮されているという特徴もある。学校図書「みんなと学ぶ 小学校 算数」は、各学年にプログラミングに関するページを設け、論理的な思考を育めるように配慮している。また、SDGsの問題を取り上げたり、学習内容を社会や日常生活とつなげられるような工夫をしたりしているなどの特徴がある。教育出版「小学算数」は、問題発見力、解決力、追究力を育てるために、身近な事象から問題発見を行い、問題を解決する手掛かりを示している。また、全学年でプログラミング教材を取り入れ、論理的思考力が育めるよう配慮もされている。デジタルコンテンツでは、視覚的に理解しやすいアニメーションや試行錯誤できる具体的操作を通して、自主的に学習できる工夫も見られる。日本文教出版「小学算数」は、探究的な内容や教科等横断的な課題に取り組むことができるよう工夫している点が特徴としてあげられる。例として、6年生では家庭科の調理を題材とした発展学習が展開されている。また、1年生では幼稚園、保育園からの接続、5年生・6年生では中学校数学への接続を意識し、円滑な接続ができるよう配慮されている。

スライド資料7ページ目下段を御覧いただきたい。選定した啓林館「わくわく 算数」は、現行の学習指導要領で導入されたプログラミング的な思考の育成について、力を入れて全学年に単元を設け、論理的思考力の育成に注力している点、またSDGsの話題を取り上げ、探究活動の楽しさにつなげたり、キャリア教育との関連を図ったりするなどの点が評価できることなどから、選定することとした。他にも、千葉県や習志野市の課題である割合や統計といった内容について、系統性を踏まえスパイラルに学習できるよう配慮している点からも、適切であると判断した。

スライド資料8ページ目上段を御覧いただきたい。理科は、大日本図書「新版 たのしい理科」を選定した。見本本の送付があった東京書籍「新編 新しい理科」は、単元の導入を重視し、問題をつかむための体験活動や身近な事象を提示するという工夫が見られる。防災教育やキャリア教育、SDGs、伝統についての考えをもてるような場面や、単元末には、身に付いた力が確認できるような振り返りや今後の学習が用意されているという特徴がある。学校図書「みんなと学ぶ 小学校 理科」は、単元末に補充・発展的な内容や自己評価を用意し、深い理解へつながるような構成になっているという特徴がある。関東近辺の比較的身近な自然や事象に触れながら、児童の興味関心を引き出したり、季節に応じた単元や理科の見方・考え方を効果的に育成できるよう系統的な単元構成の工夫も見られる。教育出版「未来をひらく 小学理科」は、先生と児童のキャラクターの対話により、見方・考え方、疑問といった思考の手助けをしているという工夫が見られる。技能面の関連が図れるよう、算数科、国語科を提示し、他教科とのつながりがわかりやすい構成となっていることもあげられる。啓林館「わくわく理科」は、授業の終末において習得した知識から新たな問題を見出す場を設けて次時の導入につなげ、主体的で深い学びにつながる工夫がなされている。また、導入場面では他学年での既習内容が示され、系統的な学習を意識した内容になっている。

スライド資料8ページ目下段を御覧いただきたい。選定した大日本図書「新版 たのしい理科」は、単元の導入にダイナミックな写真やイラストで学習内容を示し、児童の興味・関心をひくよう工夫されている。また、「環境」、「防災」、「理科と仕事」について考える場面や「伝統」、「科学技術」、「英語」への関心を高める場面を設けているところも評価した。さらに、巻末の「科学館・博物館」の紹介コーナーも探究的な学びを促す工夫であり、適切であると判断した。

スライド資料9ページ目上段を御覧いただきたい。生活は、大日本図書「新版 たのしいせいかつ」を選定した。見本本の送付があった東京書籍「新編 新しい生活」は、幼児教育からの円滑な接続を踏まえ、他教科との関連的な指導のヒントや関連を図った学習活動例、表現活動例が掲載されているという特徴がある。また、巻末には「ほんとうのおおきさいきものずかん」や「かつどうべんりてちょう」などの資料が掲載され、実物の大きさを生き物が描かれており、児童の興味・関心を引くつくりとなっている。学校図書「みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ」は、単元の導入段階で、ダイナミックな写真やフォントを取り入れてあり、活動の意欲付けを図る構成となっている。また、「ものしりノート」や「まなびかたずかん」というページを設け、個々の児童の実態や興味・関心に応じられるような配慮がされている。教育出版「せいかつ」は、学びの過程を視覚化し、「主体的・対話的で深い学び」へ導く工夫が見られる。巻末に他教科との学習をつなぐ「学びのポケット」を提示し、他教科との関連的な指導の充実を図る工夫も見られる。光村図書「せいかつ たんけんたい」は、活動内容に合った考え方や活動方法、表現方法のヒントを示し、児童が適切な方法を選択できるような配慮がみられるという特徴がある。また、単元の途中で「どうすれば」などの問いかけにより、児童が学習活動を持続的、発展的に行えるよう工夫されている。啓林館「わくわくせいかつ上」、「いきいき せいかつ下」は、紙面の右下に児童の問いや気付きが次の活動につながるよう言葉を配置し、連続性のある深い学びになるよう工夫されている。また、地域の自然や施設、人に繰り返し関わることで地域の実態に即した活動が展開できるようになっている。

スライド資料9ページ目下段を御覧いただきたい。選定した大日本図書「新版 たのしいせいかつ」は、理科と同様、単元の導入での見開きのダイナミックな写真や絵が、児童の関心・意欲を高

めるという点で、非常に魅力的であるという評価をした。また、交流場面の挿絵を多く例示することで、協働的に学び合いながら自分の考えを広げ、深められるようにしている点や環境教育へつなげる視点をもたせている点などから、適切であると判断した。

スライド資料10ページ目上段を御覧いただきたい。音楽は、教育出版の「小学音楽 音楽のおくりもの」を選定した。見本本の送付があった教育芸術社「小学生の音楽」は、国語の朗読と歌とを関連付けた教材や英語の歌などの様々なジャンルの曲が取り上げられ、教科等横断的な授業が進められるように工夫されている。また、4年生の鑑賞教材「箏曲 さくら」で、桜の絵で音楽の変化を表し、自分で感じ取ったことを書きこんだり共有したりすることができるようにするなど、日本の音楽に愛着をもてるよう工夫するとともに、諸外国の音楽も豊富に取り上げることで音楽の多様さや面白さを感じ取れるような配慮がされている。

スライド資料10ページ目下段を御覧いただきたい。選定した教育出版「小学音楽 音楽のおくりもの」は、全学年共通の曲や様々なジャンルの曲、行事や九九の歌、外国語の歌など、他教科と関連付け、系統的、横断的な学習となるように工夫されている点を評価した。また、絵や写真などで活動の方法が示され、指導のポイントも絞られていることから、習志野市の小学校、特に低学年等で学級担任による音楽指導のやりやすさという点も考慮して適切であると判断した。

スライド資料11ページ目上段を御覧いただきたい。図画工作は、開隆堂出版「図画工作」を選定した。見本本の送付があった日本文教出版「図画工作」は、各題材に「学習のめあて」が示され、児童が見通しをもてるように配慮されている。そのめあては、学習指導要領で示された資質・能力の3つの柱の育成が実現できるように構成されている。また、紙面には多様な児童の作品と発言を掲載して、気付きを促したり、他教科との学習活動を結び付けながら教科等横断的な学習ができたりするような構成になっているという特徴がある。

スライド資料11ページ目下段を御覧いただきたい。選定した開隆堂出版「図画工作」は、各題材に「学習のめあて」が示され、児童が見通しをもてるように配慮されている点、また、学習指導要領に示されている三つの目標のうちの一つを中心的な目標として示しているという点が、児童にとっても、指導する教員にとっても使いやすいという点から、適切であると判断した。また、1年生からタブレット端末を使って学習する場面を設けていることも評価した。

スライド資料12ページ目上段を御覧いただきたい。家庭科は、開隆堂出版「わたしたちの家庭科 5・6」を選定した。見本本の送付があった東京書籍「新編 新しい家庭 5・6」は、理科や体育など複数の教科へ幅広く関連させて、栄養素への理解を深める工夫が見られたり、物やお金の使い方を通して、消費者の役割を理解させ、日常生活に生かせるような工夫が見られたりする構成となっている。また、児童が理解しやすい簡潔な表現で解説していたり、県の教育施策10「郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成」と関連する、日本の伝統を継承する心を育む題材が取り入れられていたりするという特徴がある。

スライド資料12ページ目下段を御覧いただきたい。選定した開隆堂出版「わたしたちの家庭科 5・6」は、調理実習や製作の過程が見開きページを活用して、横流れの見やすいレイアウトに工夫され、その手順が分かり易く示されているという点が特徴である。また、基礎的・基本的な学習をスモールステップで積み重ね、着実に知識・技能を身に付けられるよう工夫されている。実物大の資料もあり、わかりやすくなっている。他にも、社会の人々との関わりを大切に内容になっており、伝統的な文化についても学習できるように配慮されている点などから、適切であると判断した。

スライド資料13ページ目上段を御覧いただきたい。保健は、東京書籍「新編 新しい保健」を選定した。見本本の送付があった大日本図書「新版 たのしい保健」は、学習の進め方を「話し合おう」、「考えよう」、「調べよう」、「活かそう」など、児童にもわかりやすい言葉で示している。また、課題に対して切実感や興味関心がもてるよう、実生活などで出会うような場面を設定し、健康や安全に関して具体的・体感的な解決が図れるように工夫されている。大修館書店「新 小学校保

健」は、各教科との関連について、マークを使って示し、教科等横断的な視点で学習を進めることができるように編集されている。また、二次元コードを使い、まとめとして保健クイズに挑戦できるようになっていたり、動画やシミュレーションを用いて学習の振り返りができたりするなど、学びを確実にするための工夫がされている。文教社「新わたしたちの保健」は、学校生活の具体的な場面を例示して、他教科との関連を図ったり、他領域や他学年での学習とのつながりを意識できたりする内容が充実しており、系統性が意識できる構成になっている。また、児童の身近な事例と多くのデータが掲載され、学習内容を自分事として捉えながら学習を進めることができ、普段の生活に生かすことができるという特徴があげられる。光文書院「小学保健」は、学習の進め方を「見つける」、「知る」、「生かす」の3つの要素で構成したり、ICTを活用し情報技術を手段として活用する力を育む工夫が随所でされたりしている。また、社会状況や生活習慣の変化に応じた現代的課題が設定され、発達段階に応じて説明する内容への配慮がされている。学研「新・みんなの保健」は、全ての時間において「自分で考える」、「友達やみんなで考える」、「身に付いたことを生かす」の3つを組み合わせ構成している。また、学習したことを家庭や地域で確かめたり、科学的認識を実践に結び付けたりする内容になっている。

スライド資料13ページ目下段を御覧いただきたい。選定した東京書籍「新編 新しい保健」は、「気づく・見つける」、「調べる・解決する」、「深める・伝える」、「まとめる・生かす」の4つのステップで示すことで、児童が見通しをもって学習を進めることができる構成になっている点が特徴としてあげられる。また、書き込みスペースが充実しており、考えたことや分かったことを書く活動を通して、仲間と対話的に課題解決することができる工夫がされていることなどから、適切であると判断した。「書く力」を高めようとする習志野市の指導の重点に沿い、充実した書き込みスペースで書くことを通して思考力を高めることが期待できる点を評価した。

スライド資料14ページ目上段を御覧いただきたい。外国語は、東京書籍「NEW HORIZON Elementary」を選定した。外国語科の目標では、「聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと」の4技能及び「話すこと」においては、「やりとり」と「発表」に分けた5領域を通して指導することとされている。見本本の送付があった開隆堂出版「Junior Sunshine」は、5領域がバランスよく指導できるようになっているほか、「Word Book」という別冊を用意して、単語の習得につなげている。また、巻末にはCAN-DOチェックを設け、単元ごとに学習の振り返りができるような工夫がされていることが特徴である。三省堂「CROWN Jr.」も、5領域がバランスよく扱われた展開であり、5年生では自身に関わること、6年生では地域や日本など身の回りのことなどについて伝え合うことを通して、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる内容となっている。また、別冊「My Dictionary」では、ジャンルごとに単語がまとめられており、体系的に学ぶことができる。教育出版「ONE WORLD Smiles」は、5領域が適切に扱われており、目標を達成できるような内容が選択・配列されている。また、4年生までの外国語活動から、中学校へ無理なくつながるよう構成が工夫されており、各学年のコラムで学習内容や身に付けたい力についてわかりやすく掲載されていたり、5年生では学校やスーパーマーケットなどの身近な話題が、6年生では将来の夢や中学校生活についての話題が取り上げられ、発達段階に応じる工夫がされたりしている。光村図書「Here We Go!」は、互いの気持ちや考えを伝え合う言語活動が充実していて、「Smile」、「Eye Contact」、「Clear Voice Response」をキーワードに、相手を意識した豊かなコミュニケーション活動が行えるような構成となっている。また、教科書と同じAB版で取り外し可能なPicture Dictionaryが巻末にあり、教科書と併用して知りたい単語を探したり、既習単語の確認などがスムーズにできたりするように工夫されている。啓林館「Blue Sky elementary」は、話す楽しさを大切にしたユニット構成になっていて、実際の場面の中で必要な表現を使うように意識させる配慮がされている。また、世界の人々とのコミュニケーションに欠かせない異文化理解を促し、国籍、人種、障がいの有無等の多様性が見られる構成となっている。巻末には、Word ListやCan-Doリストが掲載されており、児童が目標をもって学習したり振り

返ったりできるようになっているという特徴がある。

スライド資料14ページ目下段を御覧いただきたい。選定した東京書籍「NEW HORIZON Elementary」は、小学生の外国語で特に大切にしたい、音声に十分に慣れ親しんだ後に、語彙や表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりする流れで構成されていることが特徴である。単語の練習が、別冊の「My Picture Dictionary」とすぐに繋がるように設定され、発音を聞いて練習ができるようになっている点、また、外国語はデジタル教科書も調査研究の対象としたが、タブレットに直接書くことができ、何度も練習ができたり、保存ができたりすることから、適切であると判断した。

スライド資料15ページ目上段を御覧いただきたい。「特別の教科」道徳は、光村図書「道徳 きみが いちばん ひかるとき」を選定した。見本本の送付があった東京書籍「新編 新しい道徳」は、各学年の巻頭並びに巻末に「学び方」や「考えるためのツール」が示され、児童が多様な感じ方や考え方に出会い、議論するための手立てが示されている。また、さまざまな「いのち」に関わり、その豊かさ、素晴らしさを児童に気付かせる教材が選択されている。教育出版「小学道徳 はばたこう明日へ」は、「考え、議論する」ことを促す問いが教材ごとに提示されているだけでなく、問題解決的な学習の流れがわかりやすく示され、議論を導く工夫がされている。また、各学年の発達段階に即した重点テーマを設定し、高学年では人物教材を多く取り入れることで、将来を見据えた道徳性の育成を目指しているという特徴があげられる。日本文教出版「小学道徳 生きる力」は、現代的課題の中でもいじめ防止について、重要テーマとして扱っている。「こころのベンチ」という特集コーナーを設け、他教科と関連して多面的な学習ができるような構成となっている。また、別冊で「道徳ノート」があり、各題材の概要やあらすじが記載されている。光文書院「小学道徳 ゆたかな心」は、各教材の終末に、ねらいに迫る問いかけが2つ、多面的・多角的に考えることのできる問いかけが2つ掲載されており、児童だけではなく、初若年の教員にとっても授業の流れがよくわかり活用しやすい構成となっている。また、全ての学年において「みんなでつくるわたしたちのみらい」というページが挿入され、教科書に載っている教材とSDGsの関係性についてつなげて考えやすいように構成されているという特徴がある。学研「新版 みんなの道徳」は、各教材文に主題名が記載されていないことが特徴の一つである。児童が先入観や価値について固定的に捉えるのではなく、主体的に追求できるよう工夫されている。また、それぞれのテーマが複数教材で構成され、重点的に指導できるよう工夫されている。

スライド資料15ページ目下段を御覧いただきたい。選定した光村図書「道徳 きみが いちばん ひかるとき」は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、教科書の巻頭やそれぞれの教材の冒頭の導入文、教材末のてびきにより、児童が主体的に取り組み、多面的・多角的に考え、話し合いをしやすい構成となっている特徴がある。学習のてびきには、問題解決的な学習に有効な発問が用意され、コラムの内容は、生命尊重・いじめ・情報モラル等の現代的諸課題について取り上げ、より考えを深められるように工夫されている点、また、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うよう配慮されており、本県の教育施策と合致している点から、適切であると判断した。協議会の場でも、道徳の学習に於いては、多面的・多角的に考えられることが大切であり、掲載されている教材文はそれらの考えに導く価値のあるものが多い、との意見があがった。

スライド資料16ページ目上段を御覧いただきたい。特別支援学級で使用する一般図書について説明する。特別支援学級においては、検定された通常の教科書に代わって、一般図書と呼ばれる本を使用することができる。この一般図書は千葉県教育委員会から手元資料の「学校教育法附則第9条の規定による一般図書一覧」が提示されており、市の教育委員会から各学校に周知している。本一覧表の中から、各学校で必要に応じて該当児童生徒に適した図書を選べるようになっており、通常の教科書に代わって無償で給与される。令和5年度は、小学校17名、中学校21名の児童生徒が通常の教科書に代わり、一般図書を利用している。資料本編の一覧表の3ペー

ジ目及び4ページ目の備考欄に※印のついている、新たに追加された4冊について、葛南東部採択地区協議会において調査、協議した。

スライド資料16ページ目下段を御覧いただきたい。特別支援学級で使用する一般図書については、「内容」、「組織・配列」、「表現」、「造本」の4つの視点で、調査研究を行った。

スライド資料17ページ目上段を御覧いただきたい。本年度新たに一般図書の候補としてあがったのは御覧の4冊で、協議会では4冊全てを選定した。

スライド資料17ページ目下段を御覧いただきたい。選定理由として、「どうなってるの？からのなか」については、人間の体のしくみが分かりやすく短い文で説明されており、身近な出来事を例にあげながらテーマ別に順序よく説明されている。しかけを開くと人間の内部の様子が分かり、児童の興味・関心を引く工夫がされている。体に関する疑問に答える展開で、テーマごとに見開きページに配列され、テーマに沿ったイラストが大きく描かれていることや色彩豊かで親しみやすいという点から選定した。

スライド資料18ページ目上段を御覧いただきたい。「学校では教えてくれない大切なこと(9) ルールとマナー」については、社会生活を送るために必要なルールやマナー、インターネットの使い方や人との関わり方といった現代社会に即した内容が、漫画形式で取り上げられており、子ども達に親しみやすいという点、また、1章から4章のテーマごとに色分けされており、必要なところから学習でき、その内容も実生活に即して活用がしやすいという点から選定した。

スライド資料18ページ目下段を御覧いただきたい。「わくわく音あそびえほんえいごにほんごおうたえほん」については、親しみやすい25曲が選曲され、カラオケ機能も搭載されていることで、楽しく歌いながら英語の発音を身に付けることができるという点、また、同じ曲を英語版と日本語版の両方で学習できるという点から選定した。

スライド資料19ページ目を御覧いただきたい。「わくわく音あそびえほん新装版にほんご★えいごおしゃべりタブレットえほん」については、平仮名とアルファベットが2段になって分かり易く表示され、録音、再生、クイズ機能がついており、ゲームする感覚で学習することができる点、また、タブレットで発音を聞きながら同じ意味の言葉を英語と日本語で同時に学ぶことができたり、タブレットが取り外し可能で、扱いやすくなったりしている点から選定した、と概要を説明

馬場委員

一人一台のタブレット端末が児童に配付され、授業の中ではタブレットを積極的に使っていると思うが、今回の教科書の中ではタブレットの使用について、どのように取り上げられているのか教えていただきたい、と質問

近藤指導課長

多くの教科でタブレット端末を活用する活動が紹介されている。具体的にタブレットを使った学習例が示されているものや児童がタブレットを使っている写真や挿絵を用いて、活動を促しているものもある、と回答

馬場委員

教科書を拝見すると随所にQRコードがついており、それを使用しての活用と理解した、と発言

赤澤委員

国語の教科書について、かねてから、国語力の中でも特に書く力に関しては課題があるのではないかとわれてきたことだと思うが、今回の教科書選定に際して、その点については、どのような考え方で選定したのか教えていただきたい、質問

近藤指導課長

各社それぞれ、発達段階に即した書く力を高めるための言語活動を提示しており、相手意識や目的意識を持たせながら、6年間の積み重ねでしっかりと指導していけるような配列となっていた。具体的には、書くための材料として複数の資料を提示し、そこから考えをまとめて書くことができるような活動や、特に、今回選定した教育出版では、手紙、調査したり活動したりしたことを報告する文章、提案したり推薦したりする文章など、他教科との関連や学校行事との関連を図ったりしながら、書く活動が設定されていた。また、創作活動を取り入れるなど、書くことの楽しさを味わうことができる題材や活動も設定されていたと考えている、と回答

馬場委員

ニュースなどでも話題になっていたSDGsなどの現代的な課題への意識や対応に関するものが、教科書の中にあるのか伺いたい、と質問

近藤指導課長

非常に多くの教科書発行会社で、SDGsの問題、また、SDGsそのものを題材として大きく取り上げているという点が、今回の特徴としてあげられる。例えば、今回選定した帝国書院の地図の教科書では、日本のみならず世界のSDGsについても、写真の掲載なども含めて課題に対する各国の取組を説明している。また、他にも現代的な課題として、ユニバーサルデザインにも配慮する教材、教科書が多く見受けられたのも今回の特徴と考えている、と回答

赤澤委員

算数について、今回選定した啓林館では、プログラミング的な思考の育成として、特にピックアップして説明があったが、啓林館だけがプログラミングの項目を教科書の中で設けていたのか。また、プログラミングは必須のものになりつつあり、プログラミング的思考を低学年のうちから身に付けるのは非常に良いことだと思っている。プログラミング的思考に関して、説明していただきたい、と質問

近藤指導課長

啓林館に限らずプログラミング的思考を取り上げている教科書はあったが、啓林館については、1年生からプログラミング的な思考を取り上げていたことから、こちらを選定した。また、プログラミング的思考とは、自分が意図する一連の活動を実現させるために、どのような動きの組み合わせが必要か、どのような指示命令を出すことが必要かということ、その都度改善して、意図した活動に近づけ、論理的に考えていくことであると捉えている。1年生から学年に応じて、命令と動作について、上手いかなければ、どう改善すれば良くなるのかを考えていけるような教材が含まれているという点が、今回の特徴であると考えている、と回答

馬場委員

特別支援学級で使用する4冊について、児童の個性や特性に合わせて使用していくとの説明であったが、具体的にどのように使用するのか伺いたい、と質問

近藤指導課長

児童生徒本人が自分自身で調べたりするために使うことも当然できるが、必要に応じて教師と一緒に読んであげたり、一緒に答えを探したりするような使い方もしている。今回選定した4冊についても、それぞれの発達段階で、児童生徒が自分の課題解決に沿って使えるものでもあり、また、先生や友達と一緒に楽しく使えるものでもあるため、様々な活用が図れる点を期待して選定し

たものである、と回答

赤澤委員

外国語について、2点伺いたい。1点目は、説明においてデジタル教科書として東京書籍の事例を示していたが、デジタル教科書の位置としては、紙の教科書に付随しているものなのか。

2点目は、デジタル教科書とは、使い方も含めて、そもそもどのようなものなのか説明していただきたい、と質問

近藤指導課長

デジタル教科書は、教科書に沿ったものとなっており、タブレット端末で音声や動画が流れるなど、補足的・発展的な学習活動を行うことができるものとなっている。タブレットに直接書いたり、消したりすることができ、何度も練習することが可能で、また、書いたものを保存したりすることができるほか、それを友達に見せて確認し合ったりすることもできる。また、単元の内容に沿って、歌やチャンツ、活動の動きなどの紹介等も入っており、児童の習熟が高まるものと捉えている、と回答

赤澤委員

これは紙の教科書ではなくデジタル教科書のみにしたということか、と質問

近藤指導課長

紙の教科書と両方使用することになる、と回答

小熊教育長

道徳の教科書について、今回選定したポイントがあれば補足して説明していただきたい、と質問

近藤指導課長

道徳は光村図書を選定したが、理由としては、教材末の手引き内容等が非常に充実しており、児童が自ら考え、主体的に学ぶことができることに加え、考えるべき内容項目、つまり、学習のねらいに非常に迫りやすく、初若年層の教師の指導のしやすさもあげられる。具体的には、この教材で何を学んで欲しいのか、何を考えて欲しいのかということを中心化して示し、そこから中心人物の言動の理由、また、教材文の中のねらいに迫る問い、そして、道徳としてのねらいに迫る、一般化した問いへと広げていけるような設定となっている。さらに、学習の最後には、具体的な学習活動を提示したり、関連する作品や人物などを紹介したりするなど、非常に多様な授業の展開、または、児童の自律的な活動を促すものとなっていると考えている。また、教科書の大きさもB5変形判の造本になっており、国語に次いで教科書を手にとって読む機会が多い道徳であるということ考えたときに、特に手の小さい低学年児童にとって、他のAB判よりも少し小さい方が持ちやすいということも考慮したものである、と回答

小熊教育長

採択する教科書については、資料の1ページ目及び2ページ目の一覧表より御確認願いたい、と発言

小熊教育長が他に質疑なしと認め、採決の結果、議案第21号は全員賛成で原案どおり可決された。

小熊教育長

令和5年習志野市教育委員会第1回臨時会の閉会を宣言